

### (3) 土壌炭素の貯留に関するモデル事業【96(0)百万円】

#### 対策のポイント

炭素貯留効果の高い営農活動への転換に取り組むモデル地区を設定し、収益性や環境保全効果についての調査等を実施することにより、炭素貯留効果の高い営農体系を確立し、その推進を図ります。

#### (農地土壌の炭素貯留効果)

農地土壌は大量の炭素を貯留しており、この量は有機物の施用や耕起の方法といった営農活動により増減することが明らかとなっています。このため、地球温暖化防止の観点から、土壌への炭素貯留を促進させる適切な土壌管理の重要性が高まっています。

#### 政策目標

#### 炭素貯留効果の高い営農活動の普及拡大

#### <内容>

##### 1. 炭素貯留効果の高い営農活動に伴う収益性や環境保全効果に関する調査

土壌炭素の貯留に効果の高い営農活動への転換に取り組むモデル地区を設置し、活動に伴い生じる農家所得の増減、二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出を加味した温暖化防止効果についての調査を実施します。

##### 2. 炭素貯留効果の高い営農体系の確立

調査の結果を踏まえ、炭素貯留効果の高い営農体系を確立するとともに、マニュアルの整備等を実施します。

##### 3. 地球温暖化防止効果に着目した農産物表示ルールの構築

地球温暖化防止に資する取組により生産された農産物について、地球温暖化防止効果に着目した農産物表示ルールの検討を行います。

補助率：定額

事業実施主体：地域協議会、民間団体

[担当：農業環境対策課 土壌環境保全班(03-3502-5956(直))]

# 農地から地球温暖化防止！

## ～ 土壌炭素の貯留に関するモデル事業～

農地にたい肥の施用をしたり不耕起栽培などを行うことによって、土壌に炭素が貯留されることを知っていますか？

### 炭素貯留効果の高い営農活動の例

- ・たい肥の施用
- ・不耕起栽培、省耕起栽培
- ・木炭
- ・二毛作
- ・草生栽培

など

農林水産省では、炭素の貯留効果の高い営農活動を行うモデル地区を支援します

炭素貯留に効果のある営農活動を行うモデル地区に対し、以下の取組を支援します。

**全て定額。**しかも、収穫物の取扱いの制限はありません。

### 補助対象経費

#### (1) 栽培に係る経費

- ・ほ場借料
- ・たい肥、緑肥種子、除草剤、木炭などの資材購入費
- ・生産記録に係る記帳費
- ・機器リース料(不耕起播種機、フレールモア、マニアスプレッダ、溝掘機など)

#### (2) 分析費に係る経費

- ・機器リース料(ガスクロマトグラフ)
- ・試験従事者経費(手当、旅費)
- ・試験機材購入費(チャンバー、テドラーバックなど)

#### (3) 事務費

- ・検討会開催費(会議費、旅費、印刷製本費、役務費)
- ・消耗品費(ほ場看板代、文房具など)

など

## 補助対象団体

地域協議会

## 地域協議会のイメージ

農業者

都道府県農業試験場(調査機関)

市町村

農協

- ・受益農家が3戸以上であること
- ・内部規約等があること

## 事業概要

(水稻の場合)



### ○様々な営農活動を複数のほ場で実施

〔有機物の施用、不耕起(省耕起)、木炭炭、などを実施。〕



### ○コストと収益性の調査等

〔活動の実施に伴う経費や所得の増減について調査〕

→生産者の記帳による調査

### ○炭素貯留効果に関する知見の集積

〔CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>O、CO<sub>2</sub>の測定  
・土壌炭素、たい肥の測定〕

→調査機関による調査

## お問い合わせ先

### ○農林水産省 生産局 農業環境対策課

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1  
TEL:03-3502-8111(代) 内線4762

### ○東北農政局 生産経営流通部農産課

〒980-0014 仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎  
TEL:022-263-1111(代) 内線4096

### ○関東農政局 生産経営流通部農産課

〒330-9722 さいたま市中央区新都心2-1  
さいたま新都心合同庁舎2号館  
TEL:048-600-0600(代) 内線3308

### ○北陸農政局 生産経営流通部農産課

〒920-8566 金沢市広坂2-2-60 金沢広坂合同庁舎  
TEL:076-263-2161(代) 内線3318

### ○東海農政局 生産経営流通部農産課

〒460-8516 名古屋市中区三の丸1-2-2  
TEL:052-201-7271(代) 内線2420

### ○近畿農政局 生産経営流通部農産課

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下ル丁子風呂町  
TEL:075-451-9161(代) 内線2368

### ○中国四国農政局 生産経営流通部農産課

〒700-8532 岡山市下石井1-4-1  
TEL:086-224-4511(代) 内線2417

### ○九州農政局 生産経営流通部農産課

〒860-8527 熊本市二の丸1-2  
TEL:096-353-3561(代) 内線4216

### ○内閣府沖縄総合事務局 農林水産部農畜産振興課

〒900-8530 那覇市おもろまち2-1-1  
TEL:098-866-0031(代) 内線83371

# 土壌炭素の貯留に関する モデル事業の実施について

平成21年1月  
農林水産省生産局

# 1. 農地土壌の炭素貯留効果について

## 事業の背景・目的

地球温暖化が進行する中、農地土壌はたい肥の施用等適切な土壌管理により、炭素を貯留することができることから、京都議定書においても温室効果ガスの吸収源との1つとして位置づけられている。

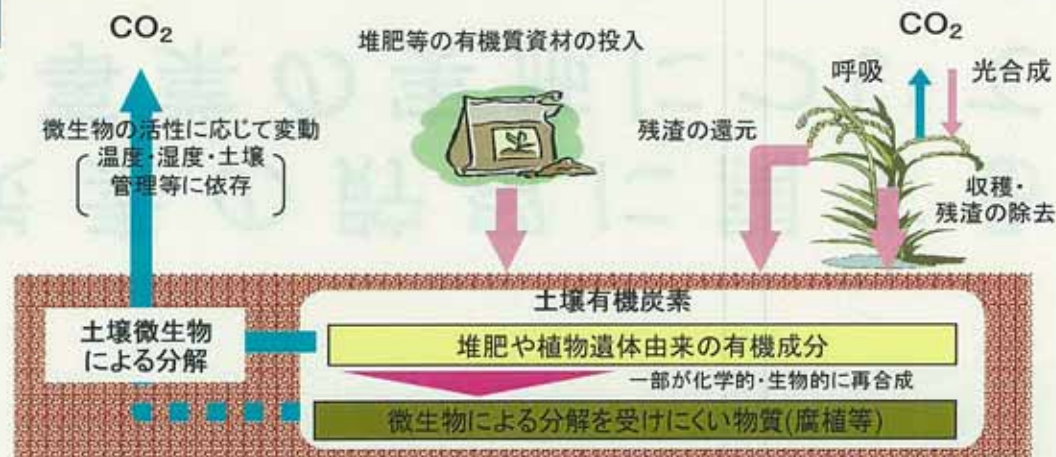
地球温暖化対策については、ポスト京都議定書の枠組みづくりにおいて、農地土壌による炭素貯留を位置づけるべく検討しているところであり、我が国の取組を国際ルールに適切に反映させることが重要となっている。

このため、炭素貯留効果の高い営農活動に取り組むモデル地区を設定し、農家の収益への影響や、地球温暖化防止効果などについて分析を行い、こうした取組の全国的拡大を図るために必要となる知見の集積する。

## 地域のメリット

- 土壌診断結果を踏まえた施肥管理などの適切な土壌管理が可能
- 農地土壌の炭素を測定し、そのデータを蓄積することによって将来、農産物へのカーボンオフセットの表示や排出量削減取組の基礎データとして活用が見込まれる。

## 農地土壌の炭素貯留メカニズム



## 2. 事業内容

炭素貯留効果の高い営農活動への転換に取り組むモデル地区を設定し、収益性や環境保全効果について調査等を実施。

農 林 水 産 省

全国32地区(炭素貯留効果の高い営農活動)

土 壌

黒ボク土  
非黒ボク土

2種類

作 物

水稻 畑作(麦・大豆)  
野菜 果樹

4作物

気 候

暖地  
寒地

2気候

営農活動

たい肥の施用  
不耕起・省耕起など

2箇所

= 32地区

農業者による記帳  
(肥料費、農薬代、種苗費、高熱水費など)

調査機関による農地土壌の  
全炭素・全窒素の分析・測定

農地土壌炭素貯留効果技術検討会(技術検討会)

- 炭素貯留効果の高い営農活動別炭素貯留効果実証データの解析
- 農業経営収支の分析

営農活動による炭素貯留効果の定量化  
農家と社会の責任分界点の設置

### 3. 事業の仕組み

全国に32のモデル地区を設置し、有機物施用、不耕起・省耕起、木炭施用などの営農活動の土壤中の全炭素、全窒素、温室効果ガスを測定。実証費用及び作業内容の費用の記帳経費として、※約145万円、土壌炭素等の測定費として※約35万円を地域協議会に助成。

温室効果ガスを測定する12地区においては、分析・測定経費として※約140万円を上乗せ。

※予算額を地区数で案分した金額

#### 地域協議会(事業実施主体)

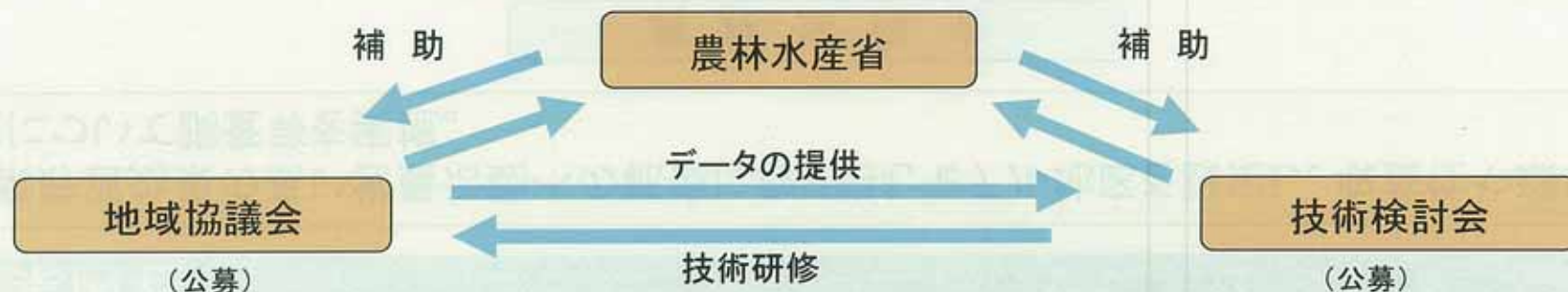
○農業者が行う炭素貯留効果の高い営農活動(①有機物施用 ②不耕起・省耕起栽培 ③木炭施用など)の取組に対し、実証に要する経費(ほ場借料、資材等購入費、記帳経費)として助成。

○営農活動による農地土壌の全炭素や全窒素を測定するとともに、土壌由来の温室効果ガス(メタン・亜酸化窒素)を測定。調査に要する経費(分析費、試験資材等購入費、機器借料等)として助成。

※地域協議会の構成イメージ

生産者、都道府県農業試験場、普及センター、市町村、農協 など

#### 事業のスキーム



## 4. 地域協議会の枠組み

地域の実態に応じ、事業主体である協議会も様々な形態が想定される。既にある協議会の規約を改正し対応することも可能。下記に示すのはその一例。

